

芳ヶ平湿地群の自然を守るため、また、みんなが安全に活動できるように、芳ヶ平湿地群を訪れるときには次のルールを守って行動しましょう。確認したらチェックをつけましょう。

決められた登山道や木道を歩き、湿原には立ち入らないようにしましょう。

湿原の植物を守るために木道がしかれています。木道があるところでは木道を歩いて、湿原に立ち入って植物を踏みつけたりしないようにしましょう。また、登山道はずれると迷子になったり危険な場所に迷い込んでしまうかもしれないので、必ず登山道を歩きましょう。

動物や植物を採取しないようにしましょう。

きれいな花やめずらしい生きものを見つけると、手に取ってみたい持ち帰りたくなりますが、芳ヶ平湿地群は国立公園に指定されており、許可なく植物をつみ取ったり、動物をつかまえることは禁止されています。また、動物にエサをあたえないようにしましょう。

ごみは持ち帰りましょう。

人が持ちこむごみは自然を汚してしまうだけでなく、野生動物に悪い影響を与えたりして自然のバランスをくずしてしまうおそれがあります。自分の出したごみを家まで持ち帰るのはもちろんですが、お弁当の食べこぼしなどにも気をつけましょう。

外来植物を持ちこまないようにしましょう。

芳ヶ平湿地群に生命力の強い外来植物が入ってくると、もともとそこに生えていた植物のすみかをうばってしまうおそれがあります。入山口では、靴や衣服についた泥や種にゅうざんぐちをよくはらい落としてから歩き始めましょう。

安全を確保して活動しましょう。

木道や登山道は、雨が降った後などはぬれてとても滑りやすくなります。また、走ったりすると、転んで大けがをすることもあります。どんなときもあわてず余裕をもって行動するようにしましょう。

このほかにも、危ないところではガイドさんが注意してくれるので、ガイドさんの話をよく聞いて落ち着いて行動するようにしましょう。